

- 災害に備え、**防災機関の連携強化と県民の防災意識の高揚を図る**ために実施
- 能登半島地震で課題となった**「孤立集落対策」「要配慮者対策」**などについて、地震の経験を踏まえ、実践的な訓練を実施

**開催日時** 11月2日（日）午前8時～

**会場** かほく市（県立看護大、高松中学校など）

**参加者** 約100機関・約1万人が参加

## 今回の防災訓練の新たな訓練内容

### ① 孤立集落対策

- ✓山間部の**若緑地区**（30世帯、74人）を**孤立集落と見立てて**住民の参集訓練を実施
- ✓衛星通信機器を**住民が設営**
- ✓ドローンを活用して**孤立集落の確認**及び医薬品等の**物資を輸送**



衛星通信機器（スターリンク）の設営



ドローンによる確認・緊急物資輸送訓練

## ② 要配慮者対策

- ✓ 個別避難計画を活用し、高松中学校体育館へ避難誘導した上、医療チームが健康状態を確認



要配慮者の避難誘導



健康状態の確認

## ③ 実動機関による訓練や防災資機材の展示（県立看護大グラウンド、高松中学校）

- ✓ 能登半島地震の教訓を踏まえ、土砂災害の詳細（被災者は何人で、どこにいるのか）が分からない状況で警察・消防・自衛隊・災害救助犬が協力した搜索救助を実施
- ✓ 水循環式トイレカーの利用体験、キッチンカーによる食事提供、簡易ベッドの設営体験、水循環型シャワー・水循環型手洗いスタンド・モバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）などの展示
- ✓ 耐震模型や感震ブレーカーの展示、食料備蓄例の紹介など



土砂災害での搜索救助訓練



水循環型シャワー



水循環型手洗いスタンド



モバイルファーマシー（石川県薬剤師会所有）

# これまでの被災地の雇用維持にかかる国の支援策



能登半島地震等の影響で、長期休業している事業者を支援するため、国は令和6年12月17日に「**雇用調整助成金**」を令和6年末から令和7年末まで**1年の支援期間延長**及び「**産業雇用安定助成金**」を創設する**異例中の異例の措置**を実施（両制度とも令和7年末限り）

## 能登半島地震を踏まえた特例措置

| 助成金  | 雇用調整助成金（通称：雇調金）   | 産業雇用安定助成金（通称：産雇金）  |
|------|---|--|
| 助成率  | 中小企業 $\frac{2}{3}$ 、大企業 $\frac{1}{2}$<br> 地震特例で<br>助成率引き上げ <b>異例</b><br>中小企業 $\frac{4}{5}$ 、大企業 $\frac{2}{3}$ （上限額：8,870円/日） | 中小企業 $\frac{4}{5}$ 、大企業 $\frac{2}{3}$ （上限額：8,870円/日）   |
| 支援期間 | 令和6年12月31日まで<br> 地震・豪雨臨時特例で<br>1年支援期間延長 <b>異例中の異例</b><br>令和7年12月31日まで  | （新 設）<br> <b>異例</b><br>令和7年12月31日まで |

# 被災地の雇用維持にかかる国の支援策に対する要望及び結果



- 和倉温泉の旅館の再建になお数年かかる見通しのため、七尾市長は県に対して両助成金の延長等を8月に要望（8月25日）
- 七尾市長の要望を受け、知事が福岡厚生労働大臣に対し、国の雇用維持支援策（雇用調整助成金、産業雇用安定助成金）の延長等を9月に要望（9月29日）
- 雇用調整助成金の延長は困難であるが、産業雇用安定助成金については、支援期間の延長と、大幅な要件緩和がなされる見通し
- 明日（10/17）の労働政策審議会で審議予定

## 産業雇用安定助成金（災害特例人材確保支援コース）の主な要望内容と対応の方向性

### 県の要望内容

① 令和9年度までの支援期間の延長

② 交付要件の緩和  
（これまで週3日以上の部分出向を対象）

③ 申請手続きの簡素化  
（添付書類の削減や記載項目の簡略化等）

### 国対応の方向性

▶ **新** 令和8年の1年間、**支援期間を延長**  
※ 令和9年以降は、令和8年の状況を踏まえ必要に応じて要望

▶ **新** 大幅な要件の緩和  
**週1日以上の部分出向を対象**

▶ **新** 申請書類間の重複項目の削除や添付書類の省略など、**申請手続きを一部簡素化**（今月から対応済）



- 被災地での自宅再建を後押しし、人口流出を食い止め、ふるさと能登の街並み再生に、県・市町が一体となって、**恒久的な住まいの確保に向けた支援制度**を6月補正で創設

## 「能登創生住まい支援金」の制度概要(R7.6月補正)

- 被災地において、住宅の新築や購入、修繕を行う世帯に工事費の一部を支援

| 基準支援額※工事費総額の10%を限度   |                   |
|----------------------|-------------------|
| 新築・購入 <b>200万円/戸</b> | 修繕 <b>100万円/戸</b> |

能登12市町(内灘以北)に対し、事業実績に応じて、基準となる支援額の2/3を県から交付

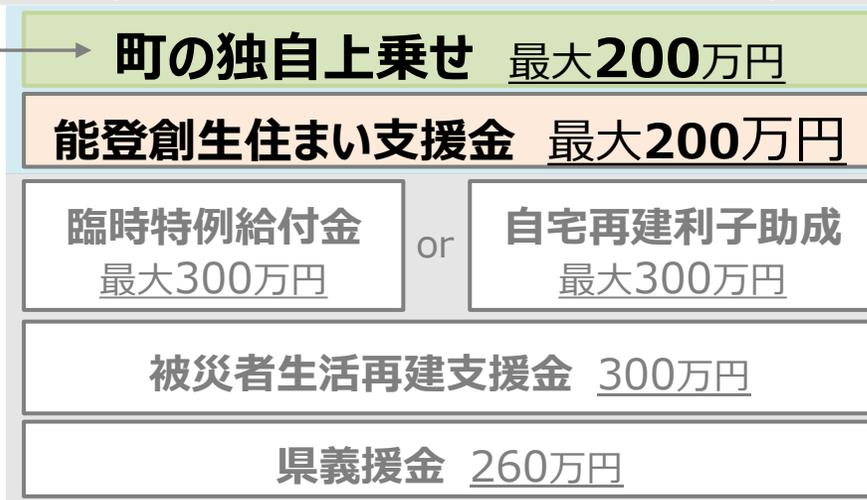
## 各市町の活用状況

- 令和7年10月より12市町すべてで受付開始
- 12市町中10市町で**独自上乗せ実施**

→ 新築・購入の例：町独自の上乗せ分100万円に加え、子育て世帯については、さらに最大100万円を上乗せし、最大で200万円を支援（穴水町、能登町）

子育て世帯の場合、**最大1,260万円**の支援

穴水町、能登町による支援イメージ  
(全壊・半壊解体世帯が新築・購入する場合)



# 能登創造的復興支援交付金の活用状況①

- ・ 総額500億円の交付金のうち、市町分250億円は、これまでに**12市町全体で70億円**を交付決定
- ・ 各市町で交付金を活用した様々な取組を実施中
- ・ 今後も、**市町の補正予算編成を踏まえ、随時交付決定する予定**

## 事例

①

### 復興まちなみ再生事業【事業主体：輪島市】

- ・ 周辺の美しい自然や歴史・文化に培われた景観に調和した**輪島らしい町並みを再生・保存**
  - 景観重点地区や指定景観重要建造物の**黒瓦の葺き替え等の修景整備に要する費用の一部を支援（補助率2/3、最大350万円）**



## 事例

②

### 珠洲市伝統文化施設等整備支援事業【事業主体：珠洲市】

- ・ 日本遺産である能登を代表する「**キリコ祭り**」を継承し、能登の地で培われた文化の維持・保全と地域コミュニティの再建
  - **キリコの保管倉庫の修繕に係る費用の一部を支援（補助率9/10、最大3,000万円）**



## 事例

③

### 住まいの復旧支援事業【事業主体：七尾市ほか5市町】

- 住宅の修理支援について、**準半壊世帯や一部損壊世帯にまで支援の幅を広げ**、人口流出の防止と地域住民の暮らしの安定を確保
  - **準半壊世帯・一部損壊世帯への修繕費用の支援**  
500千円以上の工事を対象とし、上限300千円まで支援（補助率1/5）※七尾市の場合



## 事例

④

### 集落会館建設補助事業【事業主体：宝達志水町】

- 地域行事において集いの場所となるコミュニティ施設の再建
  - **集落会館の移転新築を支援（補助率9/10）**



## 事例

⑤

### 被災宅地復旧支援事業【事業主体：かほく市・内灘町ほか4市町】

- 地域住民の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備
  - 復興基金の市町基本メニューでの支援（2/3補助）における**自己負担分（1/3）**に対し、その**1/2を独自で上乗せ支援（自己負担1/3→1/6に軽減）**



- 5つのデザイン候補から一般投票（7/31～8/21）を実施し、「**能登地域トキ放鳥受入推進協議会**」において**最多得票のデザインに決定**
  - 投票総数：4,495票（決定デザインは最多得票の1,472票）
  - デザイン制作者：岡田智子デザイン研究所（小松市） 代表 岡田智子氏
- **シンボルマークは米づくりの認証マークなどに、キャラクターはトキ放鳥PRや土産物などに活用し、トキの放鳥に向けた気運醸成や能登地域の活性化を目指す**

## 決定デザイン

シンボルマーク



- キャラクターと同時に広まるよう共通でマーク化したトキ。
- トキの背景に日の丸を、羽を日本海の波に見立てている。

キャラクター



- 虹色の羽を羽ばたかせ能登に幸せを運ぶ愛らしいトキ。
- 冠羽に「のと」の文字、顔は真っ赤なハート型。お腹には朱鷺色の石川県を抱え、幸せを象徴する虹色の羽が特徴。

- **キャラクターの愛称**を本日より公募開始、ぜひご応募ください

## 愛称募集

10月16日（木）～11月16日（日）

## 応募特典

決定した愛称を応募された方の中から、  
**抽選で10名様に5,000円分のクオカードをプレゼント**



愛称応募はこちら



虹色の羽を羽ばたかせ能登に  
幸せを運ぶ愛らしいトキ

「のと復興応援債券」を広く全国の機関投資家等(企業・団体)にPRし  
能登の復旧・復興の発信 や 地震・豪雨の風化防止 にもつなげる

## 「のと復興応援債券」の概要

- 全国の機関投資家等から資金を募る県債（全国型市場公募地方債）
- 「復旧・復興」をテーマとした全国型市場公募地方債の発行は、全国で初めて



発行総額

**100 億円**

満期一括

**5年償還**

対象

**法人向け**

発行単位

**1000万円**

発行時期

R8年**2月**頃

(参考) R7年度 地震・豪雨関連事業の県債発行見込額：1,159億円（9月補正後）

※サステナビリティ債券として、一般的な地方債より低金利を見込む（0.02～0.01%程度）

⇒来年2月の発行に向け、全国の機関投資家や企業等に「のと復興応援債券」をPR  
（10/28地方債合同IR（投資家説明会）、11/22復興祈念シンポジウムなど）

## 主な資金使途

### 地震・豪雨からの復旧・復興

- 公共施設の復旧関連事業
- 県立学校体育館の空調整備
- のと里山海道、国道249号など道路の防災対策
- のと里山空港、金沢港・七尾港の防災機能強化
- トキ放鳥に向けた環境整備 など



避難所  
学校体育館



国道249号  
千枚田工区

### 今後に備えた防災・減災対策

- 河川の改修や堆積土砂の除去
- 冠水・高潮対策  
(河川護岸・道路舗装の嵩上げ等)
- ため池、農業用施設の防災対策  
など



河川の  
堆積土砂除去



# 日本漫画家協会「チャリティ色紙パネル」の設置

- ・ 輪島市出身の漫画家・永井豪氏が所属する**日本漫画家協会が能登半島地震のチャリティオークションを開催**（R7.4～6月）し、売上額の**約1億2千万円を県に寄付**（R7.7）
- ・ 出品された全ての色紙を1枚に収めた**「チャリティ色紙パネル」**を能登6市町の観光地等・金沢駅に設置
  - オークションに出品された色紙は漫画家205名の計278枚
  - 漫画家協会の支援を県民に紹介するとともに能登への誘客に活用

## 設置期間

令和7年10月17日(金)～令和8年3月31日(火)

## 設置場所

能登6市町の主要観光地等・金沢駅 15箇所

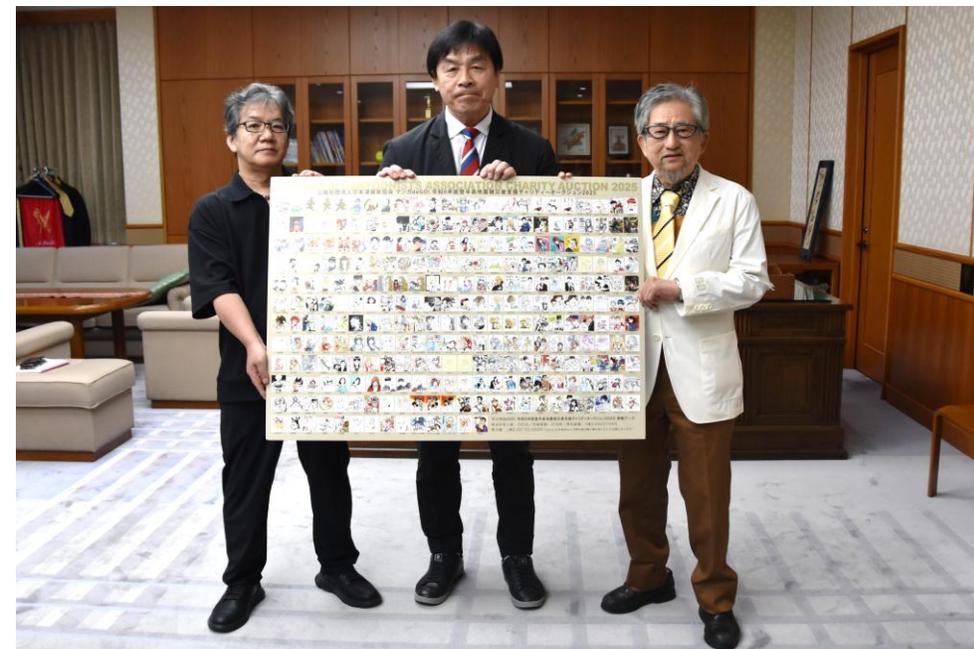


「チャリティ色紙パネル」



▲詳しくはこちら

| 市町  | 設置場所                                      |
|-----|---|
| 七尾市 | 七尾駅、能登食祭市場、和倉お祭り会館                        |
| 輪島市 | 出張輪島朝市inワイプラザ輪島店、道の駅赤神、のと里山空港（能登の旅情報センター） |
| 珠洲市 | ラポルトすず、道の駅すずなり                            |
| 志賀町 | アクアパークシ・オン、いこいの村能登半島                      |
| 穴水町 | のと鉄道穴水駅、さわやか交流館プルート                       |
| 能登町 | イカの駅つくモール、柳田植物公園                          |
| 金沢市 | 金沢駅観光案内所                                  |



日本漫画家協会永井豪氏、森川ジョージ氏の知事表敬訪問（R7.7.11）